

よういそ

街活性化への
兆しは日常に

○…「鹿児島は多様性を受け入れながら、地域の結束力も強い。この寛容さを宝にし

て」と語るのは、東京

都出身の建築家・大島

芳彦さん(47)。鹿児島

青年会議所主催の講演

会で鹿児島のみちづく

りの可能性を説いた。

○…全国40カ所で開催する「リノベーションスクール」では、遊休不動産を活用してま



大島芳彦さん

ちづくりに挑む人材を育てている。「今あなたが、この場所でなければできないこと」を追及し、人に伝えるこ

とが大事。共感を呼び当業者が生まれる」。主体的に街と向き合う人々の背中を押す。

○…本年度は鹿児島市でスクールを開く。

「おしゃやかなカフェを作るのが活性化ではない。街の特性となる変化の兆しは日常の中にある。小さな兆しを捉えてほしい」。民間主体で地域の特性を生かした活性化策を練る姿勢だ。(高橋祐紀子)